

海外安全対策情報（2020年10月～12月：ナミビア）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

（1）当国は政治的に落ち着いており、これまでテロや特定外国人を標的とした誘拐は確認されておらず、アフリカの中では比較的安全と言われている。他方、首都ウィントフックでは、日中であっても路上強盗等の一般犯罪が頻発しており、邦人を含め、外国人観光客が少なからず被害にあっている。

（2）最新の犯罪統計（安全保障省統計：2014年～2016年）によれば、国内全体の刑法犯認知件数は年々増加の傾向にあるが、例年、認知刑法犯の種類に大きな変化はなく、年末は都市部の犯罪が地方へ分散する等パターン化している。月別の刑法犯認知件数については、1月の件数が最も少なく、2月～4月に増加し、5月～6月に減少、7月～9月に多少変動があるが横ばい、10月～年末にかけて増加、12月に最も多くなる。認知刑法犯の上位は、住居侵入、強盗、盗難、車上荒らし、暴行等が挙げられる。

（3）失業率の増加に伴い、若年層による金銭目的の一般犯罪が増加傾向にあり、犯罪の標的となりやすい物はカメラや携帯電話等の電子機器である。

（4）安全・保安省が発表した最新の統計によると、2018年5月から7月にかけてナミビア全土で107件の武装強盗が発生しており、同期間に銃器の無許可所持が91件記録されている。当地の治安当局は、年々増加する銃器の所持、盗難や持ち主の管理不十分による紛失に起因する銃器関連の犯罪増加を懸念している。

2 外国人に対する犯罪の事例

（1）10月20日、12時20分頃、ルードウィグスドーフ・ウィントフックのジョン通りで、中国人が車上強盗の被害にあった。犯人は車両の窓を粉砕し、被害者の車から現金22,000ナミビアドル（邦貨約1,540,000円）を奪い、逃走した。

（2）10月22日、20時00分頃、クライン・ウィントフックのヤンヨンカー通りのレストラン駐車場でドイツ人が車上荒らしの被害にあった。犯人は車両後部の窓を破壊して車両内へ侵入し、ノートパソコン（5,500ナミビアドル（邦貨約38,500円）相当）を奪い去った。

（3）10月29日、19時30分頃、クライン・ウィントフックのヤンヨンカー通りで住居侵入強盗事件が発生した。犯人は中国人と警備員を銃で脅し、彼らをひもで縛り、家の中の貴重品（被害総額不明）を奪い、逃走した。本事件が警察に通報されたのは30日1時頃であ

った。

(4) 12月8日、4時20分頃、クライン・ウイントフックのシンクレア通りで、ロシア人住居への侵入盗難事件が発生した。犯人は金属フェンスを切断してダイニングの窓から侵入し、バッグ類、財布、タブレット等、合計16,100ナミビアドル(邦貨約112,700円)相当を持ち去った。

(5) 12月8日、5時頃、ウイントフックのフニス通りで南アフリカ人住居への侵入盗難事件が発生した。犯人は電気柵を持ち上げてくぐり抜け、未施錠扉より侵入し、携帯電話、テレビ、貴金属、ノートパソコン等、合計125,000ナミビアドル(邦貨約875,000円)相当を持ち去った。

(6) 12月11日、8時頃、ウイントフックのエロスショッピングセンター駐車場でドイツ人が車上荒らしの被害にあった。犯人は現金11,827ナミビアドル(邦貨約82,789円)を奪い去った。

(7) 12月12日、4時頃、ウイントフックのロバートムガベ通りでジンバブエ人住居への侵入盗難事件が発生した。犯人は時計、ノートパソコン、テレビ等を持ち去った。

3 薬物・危険ドラッグについて

(1) 当地サン紙は、2020年10月7日付けの報道で、2020年8月から9月にかけて1,280,000ナミビアドル(邦貨8,320,000円)相当の麻薬が押収され、222人の容疑者が逮捕されたことを伝えている。警察が提供した統計によると、今回逮捕された容疑者の大多数はナミビア人であり、また、ナミビア人が最も消費している薬物は大麻とのこと。ナミビア警察広報担当官は麻薬に関連する危険性について、国民への指導を続けていくと述べている。

(2) 2021年1月7日付け報道で当地サン紙は、2020年12月に麻薬関連の犯罪に関連して43人の容疑者が逮捕され、448,000ナミビアドル(邦貨約3,136,000円)相当以上の麻薬が押収されたが、過去数か月と比較すると逮捕者と押収量は減少したと伝えている。

4 交通事故

2021年1月7日付け当地サン紙は、2020年12月23日から2021年1月3日のホリデーシーズンにおいて、交通事故が20%、死亡者数が57%、前年度2019/2020年の同時期の記録を下回ったと伝えている。また、国家道路安全評議会議長は、新型コロナウイルス感染者数等の急増を受け、政府が発表した21時から4時までの夜間外出禁止令及び法執行機関の人員配備強化による交通事故の減少は顕著であると述べている。

5 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人が被害者となった身代金目的の誘拐事件は認知していない。

7 対日感情

ナミビア人の日本人に対する感情は良好。